

2019年度

事業報告書



社会福祉法人

大洲育成園

目次

2019年度事業報告	1~2
障害者支援施設大洲育成園 利用状況 利用実績（支援区分別）	3~4
施設入所支援	5
年間行事	6~7
生活介護	8
就労継続支援B型	9
短期入所・日中一時	10
地域活動支援センター	11
相談支援事業 大洲育成園	12~13
保健医療サービス	14
苦情解決への取り組み	15
実習生・ボランティア受入	16
利用者会議・職員会	17
支援会議	18
各種委員会活動	
（1）サービス向上委員会・（2）レクリエーション委員会	19
（3）安全衛生委員会・（4）保健給食委員会	20~21
（5）倫理委員会・（6）地域交流委員会	22
（7）研修委員会・（8）広報委員会	23
（9）その他の委員会	24~26
①後見人選定 ②支援マニュアル見直し ③虐待防止委員会 ④感染症対策委員会	
⑤リスクマネジメント委員会（事故報告件数・ひやりはつと事例報告件数）	
⑥求人情報誌作成委員会	
施設内職員研修会一覧	27

1. 事業環境

サービス利用状況は、利用者の高齢化に伴う介護保険への移行等により、施設入所では現在 74 名/定員 80 名。生活介護は、58 名/定員 60 名。就労継続支援 B 型は、19 名（通所者 3 名含む）/定員 20 名であった。

今後は支援者の人材確保をすすめながら、将来を見据えての対応が必要である。

9 月には浴室タイルの補修工事に伴い、久しぶりに全員参加（利用者 71 名支援者 34 名）による今治松山方面への一泊旅行を実施した。車椅子、歩行器を使用する利用者の増加により、企画の段階から業者等との打ち合わせを入念に行った。宿泊ホテルでは、11 名の敬老者祝賀会を併せて行い、利用者からは好評を頂いた。

地域活動支援センターは開設当時から多くの方に利用いただいていたが、個別支援計画作成の義務付けがなく、それらを懸念する保護者の声もあり、利用者の減少を機に 9 月末をもって事業を中止した。これにより、地域活動支援センター指導員 2 名は、生活支援員（生活介護、施設入所）へと異動を行った。地域活動支援センターで使用していた日常生活訓練室は、生活介護（日中活動）で活用している。センター事業の中止により、日中一時及び短期入所事業の利用者が増加しているが、今後は、利用者、保護者へ順次説明を行い、個別支援計画のある生活介護等への移行を図りたい。

2. サービス向上と安全

利用者の身体拘束ゼロを目指し支援を行うが、高齢化等による歩行機能の低下から転倒がみられるため、ケース会議を開き怪我防止用保護帽の着用が必要な場合は、本人、保護者の同意を得て使用し、その都度使用状況を記録している。また、車椅子の利用者を中心として介護リフトを活用することで、利用者のより安全な移乗に役立ち、支援員の腰痛予防、軽減にもつながっている。

利用者の通院等送迎における職員の安全運転や法令遵守の意識向上のため、職員全員の協力を得て運転記録証明書を取得し、安全運転、交通ルールの遵守に努めた。

新型コロナウイルス感染予防対策については、厚労省から 2/24 通知の「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点」に基づき、施設内感染症対策委員会で検討し、それ以降の集会（家庭の日、外部参加型研修会等）、外出（園外活動・班別レクリエーション等）を利用者へ説明のうえ自粛し、計画を一部中止して感染予防に努めた。3 月 2 日からの短期入所並びに日中一時、通所のサービス利用の利用者、保護者へ感染拡大予防の協力について依頼文書を配布し、自宅での検温、体調確認に加え施設入館前の検温や利用中止の要件について情報の共有を図り実施している。

3. 健康経営

利用者が笑顔で生活できる施設づくりのためには、まずは支援者である職員が心

身共に健康であることが重要である。職員が健康で働き続けることができる事業所を目指し、健康づくりに取り組む「健康づくり推進宣言」を行い、その取り組みが認められ中小規模法人部門において「健康経営優良法人 2019」の認定を受けることができた。審査基準については、年々ハードルが上がっているものの、既に 2020 年についても認定されている。

職員の健康こそが経営の基盤であり、ワークライフバランスの取り組みとして、有給休暇の積極的な取得や、育児・介護休暇取得を啓発して働きやすい職場環境づくりに努めた。令和元年度においては、4 名が産休、育休を取得した。

国が示す「働き方改革関連法」については、法令遵守のもと適切な改善に努める。

4. 人材確保

職種	施設長	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	指導員 (地活センター)	相談支援専門員	看護師	機能訓練指導員	管理栄養士	調理員	書記	計
平成 31 年 4/1 現在	1	3	31	1	1	2	2	2	1	1	7	3	55
減員 (退職)			2			2 異動					2		6
増員 (採用)			2 異動								1	1	4
令和 2 年 3/31 現在	1	3	31	1	1	0	2	2	1	1	6	4	53

福祉職員として専門性を高めるために自己研鑽し、介護福祉士の資格を取得した臨時職員から正職員登用採用試験を実施し、合格した計 4 名を今年度より正規職員へ登用した。前年度末で定年退職を迎える 5 名の職員においては、再雇用とした。

5. 施設整備の保全

防犯体制については、不審者に対する侵入防止に効果的なことから利用者玄関に続き、今年度は一階女性フロア入口に防犯用ドアを設置した。また、防犯教育や防犯監視システムを利用した通報を含めた実践訓練を行った。日頃からの設備整備・点検・職員研修など必要な取り組みに努め、職員の防犯意識向上につながった。

この他、第二変電室高圧機器更新工事、非常放送設備更新工事、トイレダウンライト LED 機器取替、浴室タイル補修、厨房の消毒保管庫設置やガステーブル取替等、老朽化による修繕や取替を行った。この他、正門前カーブミラー設置、行事等に活用するクイックテントを購入、研修会等で活用するプロジェクタースクリーンを設置した。主玄関の防犯用ドアについては、次年度に改修予定である。

障がい者支援施設大洲育成園

令和2年3月31日現在

1. 利用者状況

(1) 年齢別・性別の状況

平均年齢：63歳、最低年齢：26歳、最高年齢：78歳、65歳以上：32人

	20歳以上～ 30歳未満	30歳以上～ 40歳未満	40歳以上～ 50歳未満	50歳以上～ 60歳未満	60歳以上～ 70歳未満	70歳以上	計
男	1	1	3	4	25	6	40
女	0	1	0	3	25	5	34
計	1	2	3	7	50	11	74

(2) 障害支援区分 就労継続支援B型（内、通所者3人）

区分	6	5	4	3	2	計	平均
施設入所	22	28	18	6	0	74	4.9
生活介護	22	26	8	2	0	58	5.2
就労B型	0	2	10	7	0	19	3.7

(3) 入所期間の状況（施設入所） 平均36年

在籍年数	0～9	10～19	20～29	30～39	40～	計
人数	8	5	6	8	47	74

(4) 行政機関

大洲	八幡浜	宇和島	西予	松山	伊予	内子	伊方	愛南	松前	計
27	9	7	8	5	1	9	3	3	2	74

2. 利用実績（支援区分別利用状況）

施設入所支 入所者2人（4/1）・退所者3人（他施設2人 4/9・4/17・、医療機関1人 7/31）														
月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 366日	合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日		
3	300	276	269	279	274	270	233	210	210	214	203	186		2.924
4	548	579	570	573	552	479	573	558	555	550	522	532		6.591
5	750	804	779	806	769	792	824	819	779	784	734	788		9.428
6	673	618	600	620	644	608	651	630	736	706	667	757		7.910
合計	2.271	2.277	2.218	2.278	2.239	2.149	2.281	2.217	2.280	2.254	2.126	2.263		26.853
実数	77	75	75	75	74	74	74	74	74	74	74	74		

生活介護														
月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 366日	合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日		
3	120	124	120	124	119	120	109	90	88	90	87	62		1.253
4	279	279	270	263	248	241	294	290	279	279	261	253		3.236
5	720	771	749	774	737	702	731	730	686	691	618	664		8.573
6	672	618	600	620	644	608	651	630	736	705	696	788		7.968
合計	1.791	1.792	1.739	1.781	1.748	1.671	1.785	1.740	1.789	1.765	1.662	1.767		21.030
実数	61	59	59	59	58	58	58	58	58	58	58	58		

就労継続支援B型														
月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 366日	合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日		
3	238	242	234	250	238	228	220	206	216	215	196	216		2.699
4	268	266	270	279	275	238	279	268	276	270	261	279		3.229
5	30	31	30	31	31	60	62	60	62	61	58	62		578
合計	536	539	534	560	544	526	561	534	554	546	515	557		6.506
実数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19		

施設入所支援

主任指導員 中野 利子

【実施状況】

施設入所者(夜間)の睡眠、排泄及び食事等の必要な日常生活上の支援により、個々に必要な生活習慣が確立し快適な生活が送れるよう、また社会生活への適応性が維持できるよう、生活介護などの日中活動と合わせての日常生活を一体的に支援した。

施設入所者の解決すべき課題に合わせ、サービス管理責任者が個別支援計画を策定し、利用者・保護者・サービス管理責任者・看護師・生活支援員で6ヶ月ごとにモニタリングを行い、利用者及び保護者等の意向を伺い、同意のもと支援を行った。また、身体機能の低下や入院等状況の変化により随時モニタリングを開き、個別支援計画の見直しを行った。

【総括】

平成31年4月に昨年来より短期入所事業を利用されていた2人の利用者が入所したが、4月9日に市内のグループホームへ女性1人、17日に家族等の住む大阪へ女性1人が社会復帰された。令和1年7月31日には長期入院により女性1人が退所された。

利用者の高齢化に伴い誤嚥事故防止の為、個別支援計画に基づく適切な食事形態(刻み食等)や食事介助の支援について再確認を行い、嚥下機能の改善を目指して口腔体操を継続し、誤嚥防止に努めた。

身体機能や筋力の低下に伴う転倒等のケースが増えていることから、令和1年10月より日常生活訓練室を活用して、個別の機能訓練や歩行運動、更に集団での活動を増やして機能の維持、機能低下防止を図った。また、歩行運動や活動場所への移動においても、要支援者への移動には1対1の支援を心がけた。利用者支援の中において、事故防止及び生活支援員の身体への負担軽減の為にリフトを使用して介助する事を勧め、技術支援の向上と意識改善の取り組みとして、介護用リフトの扱い方や口腔ケア等の介護技術の研修会を実施した。

利用者の安全安心な生活維持、生活向上を第一に考えて対応した。

行事

月	施設行事	関係機関行事	地域行事
4	4. お花見会(利用者 89 職員 20) 清和園と合同で実施		16. プロ野球観戦 坊ちゃんスタジアム (利用者 19 職員 6)
	14. 家庭の日 保護者の会総会		
	28. 利用者会議/誕生会		
5	25. 利用者会議/誕生会	26. (県) 障がい者スポーツ大会陸上/卓球 (利用者 24 職員 10)	
6	11. おはな班レク:エミフル松前 (利用者 26 職員 10)	15. (県) 障がい者スポーツ大会 ボーリング (利用者 2 職員 1)	3. 530 運動不参加
	19. 大掃除		8. 柳沢ホテル祭り販売等 (利用者 3 職員 2)
	23. 家庭の日 事業報告会 活動見学個人懇談 (家族 36 保護者 41 人出席)		
	30. 利用者会議/誕生会		
7	1. 開園第 47 回記念日お祝い会	10. 合同説明会 in 南予 (支援員 1)	4. 大洲市一斉掃除 (利用者 2 職員 2)
	4. コスモス班レク:マイントピア 別子 (利用者 7 職員 5)		17. 参議院議員通常 選挙期日前投票 63 人参加
	10. 大正琴授与 (利用者 2 職員 1)		20. 大洲学園夜市 (利用者 14 職員 5)
	11. ひまわり班レク:マテラの森 (利用者 18 職員 9)		21. 水天宮花火大会 (延期の為不参加)
	28. 利用者会議・誕生会		
8	10. 桃太郎工房夏祭り (家族 27 保護者 45 ボランティア 26 利用者 76 職員 51)		4. 大洲川祭り (利用者 10 職員 3)
	14. 友近やっくんコンサート		
	25. 利用者会議・誕生会		
9	10~11. 1 泊旅行「今治松山方面」 (利用者 71 職 34)		28. 大洲隣保館祭り パン販売 (利用者 3 職員 1)
	29. 利用者会議・誕生会		
10	11. 平小交流会 (見学) (小学 5 年生 34 引率者 2)	17. 第 36 回大洲市 障がい者スポーツの集い:総合 体育館 (利用者 24 職員 11)	
	20. 家族交流行事・いもたき(家族	19. (南)福祉まつ	

	34 保護者 61 利用者 76 職員 23)	り:松野町 (雨天中止)	
	27. 利用者会議・誕生会		
11	8. 平小交流会 (小学5年生 34 引率者 2)	11~12. 第 37 回ゆ うあいスポーツ 四国高知大会 (利用者 10 職員 4)	3. 大洲まつり 各地区の獅子舞来園
	24. 利用者会議・誕生会		10. 大洲市「福祉と 健康づくり市民の つどい」パン販売 総合福祉センター (利用者 4 職員 3)
			16. 喜多医師会病院 との親善ソフトボ ル大会 (利用者 11 職員 5)
12	7. イルミネーション(利用者 77 保 者 36 家族 18 地域 114 ボランティア 7 職員 49)		
	14. すず払い (職員 2)		
	19. 大掃除		
	22. 利用者会議 誕生会		
	24. クリスマス会 (利用者 83 職員 24)	24. 大洲喜多法人 会によるクリス マスケーキ贈呈 式	
	26. 門松づくり (職員 3)		
	29. 正月飾り付け		
1	1. 初詣:一之宮神社 (利用者 16 職員 4)		
	26 利用者会議 誕生会		
2	3. 節分・豆まき (利用者 61 職員 11)		1. 今坊公民館・友愛 館大会パン販売 (利用者 3 職員 2)
	19. コスモス班レク:梅津寺・エミ フル松前 (利用者 13 職員 7)		16. 「こころの健康 作り講演会」パン 販売 市総合福祉 センター(利用者 2 職員 1)
	23. 利用者会議・誕生会		
3	1. ひな祭り・家庭の日 (新型コロナウイルス感染症の為中止)		10. 大洲市肱北公民 館ロビー展パン販 売 (中止)
	17. ひまわり班レク (中止)		
	23. 就労 B 型レク (中止)		
	29. 利用者会議・誕生会		

生活介護（定員 60 人）

サービス管理責任者

水本百合子・谷山洋二

【実施状況】

日中活動班として、1階男性フロア利用者のひまわり班・1階女性フロア利用者のコスモス班・2階男女フロア利用者のおはな班（生産活動班）の3班編成で、利用者のニーズに合った活動プログラムを組み、機能訓練・創作活動・生産活動等を中心に実施した。

①機能訓練

心身の健康維持を図る為、個別運動機能訓練計画書を作成し計画に沿って機能訓練を支援し、スマイル体操・スポーツレクリエーションの講師を依頼し楽しく参加しやすい環境を整えた。

②創作活動

クラブ活動で習字、貼り絵等利用者の興味や能力に応じた活動を計画し、実施した。又「桃太郎工房夏祭り」や「イルミネーション」で使用する飾り付けの作成、季節に応じた壁面飾り等、利用者一人ひとりが出来る事を支援した。

③生産活動

草花の栽培を通して播種、ポット取り、施肥、散水等の生産・管理手順から販売に至るまでの支援を行った。草花製品については、大洲市等の行政機関や地域行事等での販売を行い、地域の方々と交流を図った。活動で得た収益は、必要経費を差し引き工賃として利用者へ支給する。

<ひまわり班・コスモス班・おはな班>

（令和2年3月31日現在）

【利用者数】

	男性	女性	備考
ひまわり班	18名	—	
コスモス班	—	14名	4月に1名が入所 4月に1名が退所 8月に1名が退所
おはな班	12名	14名	4月に女性1名が退所

【支援員】（令和2年3月31日現在）

	ひまわり班	コスモス班	おはな班
男性	6名	—	6名
女性	—	5名	5名

【総括】

利用者の高齢化が進み利用者のニーズも多種多様に変化が見られる為、利用者のニーズを的確に把握し1人1人に合ったサービスの提供を心掛け、利用者の意思及び人格を尊重し、計画に基づいた支援を実施した。

機能訓練や運動への取り組みに重点を置き、現在取り組んでいるスマイル体操や口腔体操などを継続し、安全、安心な生活が送れるよう支援した。

就労継続支援B型（定員20人）

サービス管理責任者 祖母谷洋子

【活動内容】

就労に必要な知識の習得及び能力の向上を図るため、事業計画に沿ってサービスを提供した。また、スポーツ大会や地域行事、製品販売や納品等の参加により、地域との交流を図り障がい者への理解を深めた。女性利用者2人が高齢や体力低下に伴い、生活介護へ移行し、新たに男性利用者1人が入り、通所者3人を含め19名で月曜日から金曜日に生産活動を行い、行事や各種イベントには土日、祝日にも営業し即売を実施した。

パン、クッキー、クラッカー作業、外部作業からの収益を、毎月工賃として利用者へ支払い、材料費等の経費を差し引いた収益については、一時金（14,034円）として利用者へ支払った。

施設外支援については、市内飲食店へ男性利用者1名が継続して勤めた。

個別支援計画については、6カ月見直しで実施し施設外支援においては1週間で見直しを行い、知識、職場定着、就労意識の向上等を支援した。

【利用者数】 19人（男性11人・女性8人）

【担当職員】 5人 職業指導員…森康子・工賃達成指導員…西野克美
生活支援員…二宮弘光・小林友紀・サービス管理責任者…祖母谷洋子

【利用者支援】

- ・ 個別支援計画に基づき個々の知識及び技術向上、良好な人間関係の構築、販売等による社会性と就労意欲の向上について支援した。
- ・ 食品衛生及び感染症予防の為、就労棟、作業場の清掃消毒を毎日実施し、また感染症予防対策園内研修にも参加し食品製造前の手洗いは確認支援を続け、エプロン、帽子の洗濯や環境整備に注意した。
- ・ 食品衛生管理上、食品製造者全員の検便を年3回（7月、11月、3月）実施した。

【実行と反省点】

- ・ 外部からの注文は出来るだけ対応して納品を行い、行事にも参加し販売を行った。
- ・ 就労棟（パン、クッキー工房、多目的室兼食堂、トイレ等）の消毒、清掃は月曜日から金曜日に利用者の出勤前に行い感染予防、衛生管理に努めた。
- ・ 外部作業では、個人の庭の草刈りや墓地の清掃、作物の収穫や畑の整地等の依頼があり、取り組む事ができた。
- ・ 委託作業（クラッカー）の納品時には、利用者も同行し運搬等の仕事を行った。
- ・ 令和2年1月頃より、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各販売や納品が徐々に休止になり売り上げが減少した。

【販売先】 市内小中学校（教員）、近隣施設、JA関連事業所、地域各個人園内行事及び市内各種イベント、当施設職員及び利用者他

短期入所・日中一時

短期入所利用状況 (支援区分による利用状況)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	開所日数 366日
2	14	14	14	14	14	14	14	14	14	12	14	14	166
3	2	6	0	9	6	5	7	7	6	4	3	4	59
4	18	19	20	19	18	19	20	20	18	14	16	16	227
5	18	29	32	25	25	27	34	36	34	25	35	31	351
6	0	1	7	0	11	0	0	0	0	0	0	0	19
合計	52	69	73	67	74	65	75	77	72	55	68	75	822

4名の利用者が定期的に利用し、他の利用者においては、家庭の事情（家族の入院・冠婚葬祭等）やスポーツ大会参加の目的で利用があった。

日中一時利用状況 (支援区分による利用状況)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	開所日数 366日
3	0	1	0	0	0	0	19	17	19	17	15	9	97
4	6	6	5	4	10	6	38	39	37	38	35	45	269
5	5	5	2	1	1	6	14	11	13	8	9	13	88
6	0	0	1	0	0	0	22	21	19	14	21	17	115
合計	11	12	8	5	11	12	93	88	88	77	80	84	569

9月30日での地域活動支援センター廃止に伴い、引き続き大洲育成園の利用を希望される方の日中一時支援の利用があり、10月より利用が増加した。

地域活動支援センター大洲育成園

1. 利用状況

- ・契約者数 15 人
- ・開所日数(4月～9月)119日
- ・年間延べ利用数 1,044 人 (1日あたり 8.8人)
- ・利用者の地域別内訳は、大洲市 12 人 内子町 2 人 八幡浜市 1 人

2. 活動内容

個々の解決すべき課題を把握し、利用者や保護者の意向を踏まえて基本的な生活習慣が身につくよう、また地域生活への適応性を高めて、楽しく活動を行い自立した生活が送れるよう支援を行った。また、健康状態を把握し早期の対応に努めた。

(1) 創作活動

- ・工芸 絵画 季節に合わせて変化する壁面飾りやカレンダー作りを通して、季節を感じながら、楽しめるよう活動した。
- ・音楽 個々に興味のある曲等、リズムをとりながら歌い安定を図った。

(2) 軽作業

- ・缶リサイクル アルミ缶を洗浄、乾燥、潰す作業を行い、まとめてクリーンセンターへ販売した。4月から9月の半年間で 190Kg を納品し、5,700 円の収入となり、利用者へ工賃とした。

(3) 機能訓練

- ・日常生活動作 利用者個々の状況に応じて食事・排泄・歯磨き・うがい・着脱衣等を支援した。
- ・家事訓練 週1回の清掃活動を通して雑巾がけ・掃除機かけ・窓ふき、タオル干し等を行い、食事では、テーブル拭き、後片付け等の家事訓練の支援を行った。
- ・歩行運動 晴天時は外歩行、雨天時や夏の高温時は室内歩行または体操を行い、体力増進に努めた。

(4) 社会適応訓練

- ・会話、マナー 朝の挨拶をはじめ、外歩行中の近隣の方へのあいさつを通して活動・会話の中からマナーや言葉使い等について支援した。
- ・施設外活動 平公民館で、地域の老人会や婦人会の人達とスポーツレクリエーション「ボッチャ」等を通して交流ができた。

(5) 食事サービス 個々の身体状況に応じ、マンナン食・刻み食などを提供した。

(6) 送迎サービス 交通ルールを順守し、安全に送迎することに務めた。

8月15日の台風接近による警報発令時には、利用者(保護者)へ連絡して、安全に考慮して送迎を中止した。

相談支援事業所 大洲育成園

相談支援専門員 橋本哲志

1. 障害児等療育支援事業

障害児（者）の地域での生活を支えるため、療育に関する相談・援助、各種福祉サービスの提供・調整を行った。

【療育支援実績】

対象地域（大洲市・八幡浜市・内子町）

事業名	内容	件数
在宅支援訪問療育等事業	支援スタッフが地域や家庭に訪問し、本人や家族からの相談に応じ家庭生活におけるアドバイス・援助を行った。	5
在宅支援外来療育等事業	本人や家族の方に来園して頂き、諸々の相談に応じるとともに療育に関する必要なアドバイス・援助を行った。	5
地域支援一般指導事業	福祉事業所などに行き、在宅障害児（者）の保育・療育に関する相談を受け、必要に応じて専門機関の支援を頂きながら助言・援助を行った。	1
合計		11

2. 相談支援事業

地域で生活している当事者やその家族からの相談を受け、福祉サービスの利用援助に関する情報提供、社会資源を活用するための助言指導等、社会生活力を高めるための支援、権利擁護のために必要な援助、専門機関の紹介、関係機関や学校との連絡調整、地域で生活していくための見守りの支援などを夜間の緊急時の相談を含めて対応した。

また、各市町の障がい者自立支援協議会の運営も行った。

相談支援実施状況	大洲市		八幡浜市		内子町		合計	
	者	児	者	児	者	児	者	児
実人数	34	3	9	0	7	0	50	3
延件数	249	5	61	0	33	0	343	5

相談支援実施方法	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
訪問	101	21	3	125
来所	3	1	8	12
同行	9	4	1	14
電話	28	1	6	35
電子メール	1	0	0	1
個別支援会議	11	5	13	18
関係機関	97	29	13	139
その他	4	0	0	4
計	254	61	33	348

相談内容状況	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	58	16	12	86
障害や病状の理解に関する支援	0	0	0	0
健康・医療に関する支援	26	5	4	35
不安の解消・情緒安定に関する支援	24	4	5	33
保育・教育に関する支援	2	0	1	3
家族関係・人間関係に関する支援	27	7	3	37
家計・経済に関する支援	9	13	0	22
生活技術に関する支援	50	6	0	56
就労に関する支援	44	3	7	54
社会参加・余暇活動に関する支援	0	0	0	0
権利擁護に関する支援	5	1	0	6
その他	9	6	1	16
計	254	61	33	348

3. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（計画相談支援）

大洲市から指定特定相談支援事業者と指定障害児相談支援事業者の指定を受け、大洲市・内子町・八幡浜市に在住し福祉サービスを利用する方に対して、計画相談を実施した。本人・家族の気持ちを聞かせていただき計画を作成し、利用事業所との連絡調整を図りながら、モニタリングについても定期的に行った。

○計画相談件数

(者) 計画 146件 ・モニタリング 189件
(児) 計画 13件 ・モニタリング 15件

4. 大洲市障害者虐待防止対策支援事業・家庭訪問等個別支援事業 今年度の実施件数は、なかった。

保健医療サービス

看護師 後藤望美

利用者の健康状態を、生活におけるあらゆる機会を通して把握に努めた。また、日々の健康状態把握に加え健康診断を実施することで、病気の早期発見に努めた。異常等が発生した場合は、早急に医療機関へ連絡をとり通院及び入院に繋げた。施設内で処置が可能なものは、治療・予防等を行った。

○ 健康診断

- ・第1回<愛媛県総合保健協会> (5月21日) 74人実施
- ・第2回<喜多医師会病院> (10月～11月) 74人実施

※うち任意検査実施者～ (第1回) 骨塩定量検査 48人、前立腺特異抗体検査 23人
(第2回) 腫瘍マーカー検査 48人、大腸がん検査 51人、
乳がん検査 21人、子宮がん検査 16人

年間2回の健康診断を実施し、結果についてはかかりつけ医に相談し、必要に応じて二次検査等を進めた。二次検査の結果で骨粗鬆症や糖尿病などの治療開始となった方や脂質異常等による変薬がみられた。

○ 歯科検診<愛媛県歯科巡回診療>

(6月13日) 85人実施 ※うち歯石除去治療者～10人

検診結果を踏まえ、虫歯のあった方については順次歯科通院治療を実施。

○ 感染症発症について

インフルエンザ A 型感染者 1人あり

○ 予防接種

- ・インフルエンザ予防接種 (11月22日・29日) 77人実施
- ・肺炎球菌感染症予防接種
<大洲市による高齢者の今年度該当者> (12月10日) 1人実施

○ 通院状況等

定期的に通院を実施し、投薬、処置等を受けるとともに、生活において個別に食事療法、適度な運動、日光浴 (外気浴) 等、疾病の予防に取り組んだ。

○ 入院状況

延べ人数 9人 (実人員 8人) ～右顔面蜂巣炎、脳挫傷疑い、急性膵炎、上行結腸がんによる穿孔性腹膜炎、腎盂腎炎、術後癒着性腸閉塞、右鼠経ヘルニア、横紋筋融解症、肺炎